

2020年度 事業計画書・収支予算書

自 2020年4月1日

至 2021年3月31日

一般社団法人 **日本オートキャンプ協会**

一般社団法人日本オートキャンプ協会

2020 年度事業計画

2019 年は JAC 創立 50 周年を迎え、記念事業として第 89 回 FICC オートキャンプ世界大会を福島県天栄村で開催した。「観光・交流・復興」をスローガンに掲げて実施された世界大会で、オートキャンプがいかに観光や国際交流や地域振興に寄与できるかが具体的な形で内外に示された。これを好機として今後はこれらの成果を活用し、さらに発展させるべく事業を推進していく。

オートキャンプ人口は2019年で6年連続増加したが、今後も冬キャンプ、ソロキャンプなどキャンプスタイルの多様化、キャンプ年齢層の拡大、インバウンドの参入などにより、オートキャンプは成長していくことが予想される。協会として健全なオートキャンプの成長を主導するために、引き続きオートキャンプ指導者の育成に力を注ぐとともに、指導者活動の全国展開の基盤としての支部を支援していく。

オートキャンプが拡大していく一方で、施設の老朽化などにともない集客に苦戦しているキャンプ場も少なくない。協会としてキャンプ場経営研究会、キャンプ場コンサルテーションなどを通してキャンプ場の運営を積極的にサポートしていく。

また IT 化時代に対応するため、紙媒体だった広報紙のメールマガジンへの移行、ホームページなどのインターネットや、フェイスブックなどのSNSを最大限活用した広報活動を展開していく。

運営の経営基盤を確立するため既存の事業の見直し、新規事業の拡大を行っていく。

また今回、新型コロナウイルス感染拡大にともない一部事業を中止とし、また今後も経過により、中止することも考えられる。

1. オートキャンプの普及促進

(1)アウトドアデイジャパン(4 会場とも新型コロナウイルス感染拡大にともなり開催中止)

①アウトドアデイジャパン 2020 東京

開催期間:2020 年 4 月 4 日(土)~5 日(日)

開催場所:都立代々木公園 B 地区イベント広場・けやき通り・

野外ステージ(東京都渋谷区)

②アウトドアデイジャパン 2020 福岡

開催期間:2020 年 4 月 18 日(土)~19 日(日)

開催場所:舞鶴公園鴻臚館広場(福岡市中央区)

③アウトドアデイジャパン 2020 名古屋

開催期間:2020年5月9日(土)~10日(日)

開催場所:名古屋港ガーデンふ頭ひがし広場(名古屋市港区)

④アウトドアデイジャパン 2020 札幌

開催期間:2020年6月6日(土)~7日(日)

開催場所:札幌競馬場ターフパークステージ(札幌市中央区)

(2) 第15回「オートキャンプの日」事業

「オートキャンプの日(毎年5月第3土曜日、2020年5月16日)」を記念して全国のオートキャンプ場において、オートキャンプの普及・発展を促進する各種行事を実施する。また、公益財団法人日本レクリエーション協会が同月に主催する全国一斉「あそびの日」キャンペーンにも参加する。

(3) ジャパンキャンピングラリー2020

(第50回全日本オートキャンプ大会兼 JAC 近畿の集い)

(日本レクリエーション協会第74回全国レクリエーション大会・種目別全国交流大会と併催)

開催時期:11月13日(金)~15日(日)

開催場所:赤穂海浜公園オートキャンプ場(兵庫県赤穂市)

主 管:JAC 近畿

(4) 地域ブロック大会の主催

①JAC 北海道オートキャンプ大会

開催時期:6月13日(土)~14日(日)

開催場所:マオイオーランド(北海道長沼町)

主 管:JAC 北海道

②第20回オートキャンプ東北交流・体験会

開催時期:6月下旬

開催場所:山形県秋田県内

主 管:JAC 東北

③JAC 関東の集い

開催時期:10月31日(土)~11月1日(日)

開催場所:未定
主 管:JAC 関東

④JAC 東海の集い

開催時期:9月26日(土)～27日(日)
開催場所:未定
主 管:JAC 東海

⑤JAC 近畿の集い兼ジャパンキャンピングラリー2020

(第50回全日本オートキャンプ大会)

(日本レクリエーション協会第74回全国レクリエーション大会・種目別全国交流大会と併催)

開催時期:11月13日(金)～15日(日)
開催場所:赤穂海浜公園オートキャンプ場(兵庫県赤穂市)
主 管:JAC 近畿

(5) オートキャンプの普及促進並びに会員数増大のための支援・協賛

①増加しつつある20代キャンパー、シニアキャンパー、女性キャンパー向けの情報を広報紙やホームページなどを通じて充実・強化する。

②支部規程に基づき認定された支部に対し、助成金を交付する。

(6) 会員制度の充実と会員数増大策の推進

オートキャンプ・ロケーションガイド、メールマガジン、ホームページ等の各種媒体による情報提供の充実

① 個人会員

会員割引特典対象キャンプ場の拡充とアウトドア用品販売店等への会員割引制度の導入

一般キャンパーに対する協会主催事業及び共催事業への参加勧誘による入会促進。

クラブや指導者等を通しての入会勧誘

② 団体会員(オートキャンプ場)

オートキャンプ場経営研究会を通じた会員オートキャンプ場間の情報交換

及び交流

未加入のオートキャンプ場に対するあらゆる機会を通じての入会勧誘の実施

③ 団体会員(用具・用品及び RV・施設関連)

・イベント出展案内等によるオートキャンプ関連事業者に対する入会勧誘の実施

(7) 「観光としてのオートキャンプ」の普及促進

①国策である観光立国推進計画、地方創生を追い風に、協会内はもとより観光庁など外部関連機関との連携により地域の特性を活かしたオートキャンプの振興を図る。

②会員キャンプ場の FICC キャンプ場検索サイトへの登録を推進し、海外への情報発信を強化し、また海外へ情報発信するためのウェブサイトを活用し訪日キャンパーの増加を目指す。

③訪日キャンプツアーなど訪日外国人旅行客に対するオートキャンプの促進に向けた取り組みを開始する。

(8) 収益事業の拡充

①全国約 290 カ所の会員キャンプ場の他、未加入のキャンプ場を含めた全国のキャンプ場のネットワークを活用したサンプリング事業の実施拡充を図る。

④ キャンプ場運営に必要な需品のあつ旋等の拡充。

⑤ リニューアルしたホームページへのバナー広告掲載等広報媒体の活用及びその他の収益事業の開発。

⑥ 協会が有する資源を活用した出版販売等による収入の拡充。

⑤ キャンプ場のコンサルテーション事業の開始。

(9) その他

オートキャンプを楽しむ初心者に、より良い器具、キャンプ用品等を紹介できるシステムの構築に向けて昨年に引き続き検討する。

2. オートキャンプに関する相談及び支援

(1) オートキャンプ場整備事業

公設キャンプ場にイベント用宝くじテント(一般財団法人日本宝くじ協会助成事業)を配布する。

(2) 星マーク認定制度の拡充

①星マーク認定制度のオートキャンプ場評価基準に基づき、オートキャンプ場の星マーク認定を行う。

②星マーク認定制度の認知度を拡大し認定キャンプ場の増加を目指す。

(3) 公認オートキャンプ指導者の活用促進

会員オートキャンプ場が地域の指導者を活用しやすくする方策として、キャンプ入門教室の開催、各種イベントの実施、繁忙期の支援などを検討する。

(4) オートキャンプ場保険の取扱の推進

オートキャンプ場保険の必要性を研究会、講習会、広報紙等を通して告知し、会員オートキャンプ場に対し保険加入の促進を図る。

(5) オートキャンプ場の運営に関する相談事業

オートキャンプ場の建設、リニューアル、整備、従業員教育の相談等につき積極的に対応する。

(6) 地域ブロックキャンプ場フォーラムの開催

オートキャンプ場相互及び協会との繋がりを強くすることにより相互連携の基盤をつくとともに、地域におけるオートキャンプの普及促進を図るための情報交換会としての「地域ブロックキャンプ場フォーラム」を開催する。

3. オートキャンプに関する広報

(1) メールマガジンの発行

個人会員やウェブサイトから登録されたキャンパー向けにメールマガジン「オートキャンプ」の発行。また団体会員に向けた「JACビジネスレポート」を発行し、ユーザーと団体会員に情報を提供していく。

(2) 「オートキャンプロケーションガイド」(仮)の刊行・配布

全国の会員オートキャンプ場約 290 カ所の特徴や施設の概要などを詳細に紹介する。

発行部数:1 万部、2020 年4月 刊行予定

配布先:個人会員、団体会員、会員外キャンプ場、アウトドア用品販売店、道の駅、イベント会場等での配布等の他、販売も予定。

(3) 自然災害による被害を予防するための情報の発信及び啓蒙

①多発する自然災害(地震・大雨による洪水等)による被害を予防するために、自然災害に関する情報サイトをウェブサイトに掲載して、キャンパーやキャンプ場に情報を提供する。

(4) ウェブサイトによる情報の提供

①イベントの告知、キャンプ場紹介、リンク情報等をさらに拡充する。

②ウェブサイト上に「公認オートキャンプインストラクター資格認定講習会」の年間の開催スケジュールを掲載する。

(5) SNS による情報発信と情報交換・交流

Facebook 等の SNS によるキャンペーンや指導者への情報発信と、キャンパーや指導者間の情報交換・交流を図る。

(6) 報道機関等への情報の提供

各種イベント、オートキャンプのトレンド等マスメディアへオートキャンプ関係の情報提供を充実させ、協会の知名度を高める。

(7) オートキャンプに関する電話相談等の対応

オートキャンプ場に関するあらゆる相談、新しいオートキャンプ場の建設を考えてい

る地方公共団体や法人・個人に対して協会編集の「オートキャンプ場建設・管理運営マニュアル」を中心に相談に応じるとともに実地にて指導を行う。

4. オートキャンプ指導者の養成研修

(1) 公認オートキャンプインストラクター資格認定講習会の開催

① 指導者講習会(兵庫県)

開催時期:2020年11月28日(土)~29日(日)

開催場所:西脇市日時計の丘公園

主 管:JAC 近畿

② 指導者講習会(北海道)

開催時期:2020年11月14日(土)~15日(日)

開催場所:秀岳荘白石店日本山岳会北海道支部会議室

主 管:JAC 北海道

③ 指導者講習会(東京)

開催時期:2021年1月

開催場所:東京

主 管:JAC

④ 指導者講習会(東北)

開催時期:未定

開催場所:未定

主 管:JAC 東北

⑤ 指導者講習会(東海)

開催時期:

開催場所:

主 管:JAC 東海

(2) 「公認オートキャンプインストラクター資格認定講習会マニュアル」の発行
各地域でコーディネーターが指導者講習会を企画及び実施する際に考慮すべき事項、実施手順、過去の経験を踏まえたノウハウをまとめた開催マニュアルを改訂・配布する。

5. オートキャンプ場経営に関する研究会の開催

(1) 第25回オートキャンプ場経営研究会の開催

開催時期:2021年2月

開催場所:未定

6. オートキャンプに関する情報の収集・提供及び調査研究

キャンパー、キャンプ場へのアンケート等を実施し、オートキャンプの過去・現在・未来を浮き彫りにし、その結果をキャンプ関係者等に公表する。

(1) アンケート調査の実施

キャンパーの意識調査、用具・用品及びRV・施設関連、オートキャンプ場の実態調査を実施する。アンケート結果は、当協会発行の「オートキャンプ白書」の基本データへの活用や、オートキャンプの普及促進に活用するとともに、他への活用も検討する。

(2) 「オートキャンプ白書2020」の発行

アンケート調査結果を分析した「白書」を発行し、オートキャンプを取り巻く環境の現状をマスメディア等を通し広く社会にアピールする。

(3) 「オートキャンプ白書2020」発表会の開催

マスメディア等に白書概要を発表する場を設け、オートキャンプの広報を強化する。また、オートキャンプ場や用具・用品メーカー、キャンパー等の意見や声を集約するとともに、必要に応じて関係官庁・団体に陳情等を行う。

7. 関係団体との連絡提携

(1) 官公庁との連絡提携

国土交通省をはじめとして観光庁、文部科学省、スポーツ庁、総務省、環境省及び地方公共団体等との連携を強化する。また、国及び地方公共団体が実施する事業へ積極的に参加し、連携の強化を図る。

(2) 関係団体との連絡提携

自動車関係団体、観光関係団体、スポーツ・レクリエーション、アウトドア関係団体との連携を強化する。また、公益社団法人日本観光振興協会主催の「観光立国推進協議会」に参画し、オートキャンプツーリズムの確立を図る。

8.国際関係

新型コロナウイルス感染拡大にともない下記イベントは中止

(1)FICC 第 90 回 FICC オートキャンプ世界大会

開催時期:2020 年7月 24 日(金)～8 月 2 日(日)

開催場所:イタリア・ローマ キャピタルキャンプ場

(2)FICC 総会

開催時期:2020 年7月 29 日(第 90 回 FICC 世界大会期間中に開催)

開催場所:イタリア・ローマ キャピタルキャンプ場

(3)第 20 回 FICC アジアパシフィック大会

開催時期:2020 年4 月 30 日(木)～5 月 4 日(月・祝)

開催場所:台湾 新北市 福隆龍門キャンプ場

(4)FICC アジア・パシフィック委員会

(第 20 回 FICC アジアパシフィック大会期間中に開催)

2020年度予算書<正味財産増減計算書ベース>

2020年4月1日から2021年3月31日まで

	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	22,474,000	22,120,000	354,000
正会員	21,724,000	21,620,000	104,000
賛助会員	750,000	500,000	250,000
② 受取助成金	8,800,000	28,080,000	▲ 19,280,000
受取国庫助成金	0	0	0
受取民間助成金	8,800,000	28,080,000	▲ 19,280,000
③ 事業収益	15,710,000	68,338,000	▲ 52,628,000
④ 雑収益	631,000	437,000	194,000
関係団体協力金	100,000	100,000	0
事務受託金	350,000	324,000	26,000
受取利息	1,000	1,000	0
雑収益	180,000	12,000	168,000
経常収益計	47,615,000	118,975,000	▲ 71,360,000
(2) 経常費用			0
① 事業費			0
事業管理費	10,439,480	11,612,000	▲ 1,172,520
役職員退職給付支出	0	0	0
職員退職掛金支出	460,800	461,000	▲ 200
普及促進費	880,000	47,274,000	▲ 46,394,000
相談及び支援事業費	8,850,000	11,049,000	▲ 2,199,000
養成研修費	800,000	385,000	415,000
広報活動費	1,300,000	20,360,000	▲ 19,060,000
調査研究費	1,585,000	1,545,000	40,000
連絡提携費	495,500	3,486,000	▲ 2,990,500
事業費用	4,710,000	757,000	3,953,000
減価償却費	685,000	0	685,000
事業費計	30,205,780	96,929,000	▲ 66,723,220
② 管理費			0
給料手当	8,439,720	11,793,000	▲ 3,353,280
役職員退職給付支出	0	0	0
役職員退職給付費用	3,049,900	0	3,049,900
職員退職掛金支出	307,200	307,000	200
福利厚生費	1,467,000	1,350,000	117,000
会議費	548,000	902,000	▲ 354,000
旅費及び交通費	50,000	388,000	▲ 338,000
通信運搬費	930,000	837,000	93,000
印刷製本費	20,000	340,000	▲ 320,000
貸借費	3,941,600	4,155,000	▲ 213,400
備品購入費	30,000	20,000	10,000
消耗品費	550,000	550,000	0
光熱水費	282,000	274,000	8,000
渉外費	4,000	50,000	▲ 46,000
租税公課	2,720,000	2,385,000	335,000
雑費	1,100,000	821,000	279,000
管理費計	23,439,420	24,172,000	▲ 732,580
経常費用計	53,645,200	121,101,000	▲ 67,455,800
当期経常増減額	▲ 6,030,200	▲ 2,126,000	▲ 3,904,200
2 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	▲ 6,030,200	▲ 2,126,000	▲ 3,904,200
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	▲ 6,100,200	▲ 2,196,000	▲ 3,904,200

(注記)借入限度額は500万円とする(財務規程第14条第3項による)